

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-03-01-01
事務事業名	観光推進事業		根拠法令・要綱等
事業開始年度	S46~		問合せ先
大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	担当課(室)	商工観光課
中項目	個性あふれる観光のまちづくり	職・氏名	観光係長 山台 智子
小項目	施策 観光	電話	64-1832(274)

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	観光事業者、観光客
目的(何のために)	観光案内サービスの向上、観光PR活動の推進により、市への来訪者数を増加させ、市の活性化を図る。また、観光動態調査については、観光客の動向を調査することにより諸施策への指針として利用するため。
行政活動(どのような方法で)	観光動態調査、観光宣伝事業(宣伝広告、観光物産展など)、パンフレット作成配布、観光写真掲出事業、観光看板設置等
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	観光客数の増加

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	観光客数(市内観光施設、商工観光課調べ)	人		759,415	787,221	782,174
	観光客動態調査(県)	人		754,000	751,000	765,000
事業費	直接事業費	千円		2,288	8,256	1,549
	人件費			7,768	5,814	4,222
	事業費計			10,056	14,070	5,771
財源	国県支出金			176	176	176
	受益者負担	千円				
	一般財源			9,880	13,894	5,595
必要人員	人		0.98	0.75	0.70	
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	観光客数	説明				
	結果指標量	人		759,415	787,221	782,174
	対前年比	%		-	103.7%	99.4%
	活動コスト	円		10,056,000	14,070,000	5,771,000
単位当たりコスト	円		13	18	19	
結果指標	観光パンフレット作成部数	説明				
	結果指標量	部		127,500	20,000	0
	対前年比	%		-	15.7%	0.0%
	活動コスト	円				
単位当たりコスト	円					

事業の成果			
成果指標名	観光客数	式又は説明	市調査及び観光動態調査による観光客数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	759,415	787,221	782,174
対前年比		103.66%	99.36%
到達目標値	100万人	到達目標年度	平成22年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A~E>	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	観光産業は、本市の中において重要な位置を占めており、市の活性化には必要不可欠のものである。備前焼、閑谷学校、八塔寺ふるさと村、国立公園日生諸島と他の自治体にはないほどの観光資源に恵まれており、これらを有効活用することにより、市の発展に寄与することが求められる。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率性評価<A~E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	市単独でのPRには、限界があるため広域協議会等の連携により、より効果的なPRに努めるとともに、各メディアを活用することによりPR効果の拡大に努める。パンフレット作成にかかる費用負担について検討する。	
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	有効性評価<A~E>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	課題認識	
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	NPO、ボランティア団体等との協働により観光振興に努めるとともに、広域観光の発展につなげるよう検討する必要がある。	
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	有効性の評価	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
職	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	成果指標は前年度より向上している	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	成果は向上しており今後も向上する見込みである	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	今後、成果指標は向上する余地がある	
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	市民参画度	
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	事業について積極的に情報提供している	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	事業実施等で積極的に市民意見を反映している	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		

平成20年度の状況		説明	観光PRに努めるとともに、各種調査により観光客増加の方策を見出そうとしているが、有効策がないのが現状である。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 90万人	結果指標量	100万人

総合評価		評価区分<A~E>	C
観光産業は市の基幹産業として重要な要素を占めており、市の活性化のためにも今後とも力を入れていく必要がある。			

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	各メディアの活用や広域連携によるPR	随時	効率的に効果的なPRの実践